

# 地域の生産者および企業と連携した 庄内産小麦を使った商品の開発と評価

キーワード 食料自給率, 庄内産小麦, 地域内循環

2

食料を  
ゼロに

12

つくる責任  
つかう責任

15

後の豊かさも  
守ろう

## ■ 研究概要

国産小麦の自給率はカロリーベースで15%（2020年）と極めて低く、海外からの輸入に依存しています。山形県は、言わずとも知れたラーメン王国で、全国の中でもトップのラーメン消費量を誇ります。しかしながら、年間生産量は167t、作付面積は68haと極めて低く、全国最下位クラスの生産量です。これら背景を受け、地域内消費が高く、地域内自給できていない小麦を地域資源を活用して生産し、地域内で製粉・加工し、地域内で販売消費する仕組みづくり（スマート・テロワール）を、地域の農家さんや企業さんと一緒に取り組んでいます。

\*スマート・テロワールとは、農と食を地域内で循環させ、持続可能な食料自給を目指す取り組みです。



## ■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 庄内産（地域産）小麦を使用した商品開発
- ・ 庄内産（地域産）小麦による地域おこし
- ・ 地域内未利用資源の有効活用

中坪 あゆみ 助教 NAKATSUBO, Ayumi

専門分野：作物生産学・農地情報学・農業リモートセンシング  
E-mail：nakaayu@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

